

平成 22 年度第 1 回 横浜市建築物環境配慮評価認証委員会 会議録	
日時	平成 22 年 12 月 3 日 (金) 午後 2 時から午後 4 時まで
開催場所	J Nビル 6 階会議室
出席者	委員 岩村 和夫 会長 伊香賀 俊治 副会長 岩田 利枝 委員 吉崎 真司 委員
	説明者 (計画概要の説明) 株式会社 日建設計
	事務局 若月 建築局 建築審査部長 小池 建築局 建築審査部 建築環境課長 肥田 建築局 建築審査部 建築環境課 建築環境係長 建築局 建築審査部 建築環境課 堀越、岩岡
欠席者	委員 園田 真理子 委員
開催形態	非公開
議題	(仮称) 横浜三井ビルディング新築計画 について
決定事項	S ランクにて認証
議事 (概略)	<p>CASBEEの評価全般について</p> <p>【Q1-3.1.3 昼光利用設備、Q1-3.2.2 昼光制御】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓枠形状の工夫による昼光利用については、方位やブラインドの制御と適切に組み合わせることで室内の明るさ感を向上させることができるが、形状をもって昼光利用設備とすることは無理がある。 ・自動制御ブラインドについて、タイムスケジュールによる制御の場合、天候による判断ができないため、太陽光追尾センサーや日射計が設置されたものに比べると十分とは言い難い。 <p>【Q3-1 生物環境の保全と創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような植物を在来種とするかは CASBEE の中でも様々な議論があり、判断が難しい。 ・地域の郷土種の保全に配慮した緑地づくりは、その地域での遺伝的な特性を持った郷土的な種を、成長に適した条件の場所に積極的に取り入れていくことを評価する。 <p>【LR1-4.2 運用管理体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギーへの取り組みを管理する組織体制：事業主の本部組織等で建物のエネルギー管理ができる組織体制を構築することが重要。 <p>評価された主な環境配慮項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LED 照明や切替型照明器具・人感センサー制御などの導入等により、省エネルギー性能の高いオフィスビル ・建物内に鉄道模型博物館を取り入れ、鉄道模型を展示する他、体験や地域の交流の場として計画している。
資料	1 建築物環境配慮評価認証計画書 2 設計趣旨及び建築計画概要

本会議録は、平成 22 年 12 月 17 日各委員に確認を得、確定しました。